

第8回岡谷小学校のあり方検討委員会 会議録（要旨）

1 日時

平成26年1月31日（金）午後7時～午後9時10分

2 場所

岡谷市保健センター

3 出席者

委員 原豪志委員、林裕一委員、宮崎勇委員、三村田卓委員、藤森眞由美委員、林幸三委員、小林啓助委員、薩摩林忠美委員、田中沙里委員、沓掛貴芳委員、濱一平委員、武居崇委員、原史郎委員、八幡義雄委員、原山智委員、森本健一委員、荒深重徳委員、古本吉倫委員（名簿順）

計18名（欠席者：岩下貞保委員）

地質調査業者 (株)長野技研

岡谷市・岡谷市教育委員会

草間吉幸教育委員長、古屋博康教育部長、河西稔建設水道部長、橋爪哲也教育担当参事、吉澤洋人教育総務課長、山岸徹企画課長、山本文明土木課長、小林隆危機管理室主幹、三澤達也教育総務課主幹、高橋卓教育総務課主幹、清水亮教育総務課主査、小口和久教育総務課主査、宮坂洋平教育総務課主任

○会議次第

1 開会 午後7時

2 議事

（事務局から会議の成立報告。続いて、委員長から本日の会議の傍聴について、前回同様、分科会については非公開とし、全体会のみを公開とする旨を委員に諮った結果、異議なく承認された。）

<議事の内容>

- (1) 諸連絡
- (2) 分科会
- (3) 全体会(分科会の報告)
- (4) その他

(1) 諸連絡

【委員長】

事務局から諸連絡をお願いします。

【事務局】

（本日の会議の進め方について、前回同様、各分科会に分かれて議論を行い、その後全体会で各分科会の報告を行うことを確認。）

【委員長】

委員さんの方で、何かご意見はありますか。

【委員】

前回の全体会で、委員の一人から、良いとか悪いとか結果ではなくて、その過程を聞かせてほしい、また、その案にするとこのような良いことや悪いことがある、というような検討内容を聞きたいという意見があったが、もっともだと思う。そのように分科会を進めていただければと思う。

【委員長】

進め方については、各分科会で判断していただければと思う。

その他、何かありますか。

（なし）

今後の予定については、第6回委員会で事務局から説明があったが、2月に各分科会の検討をまとめていただき、3月には全体会で議論していきたい。今日を含め、残り2回の分科会でまとめていただければと思う。よろしいでしょうか。それでは、各分科会に分かれて議論をお願いします。

（2）分科会

（各分科会の会議録は別紙。）

（3）全体会（分科会の報告）

【委員長】

本日の分科会で出された意見等の報告をお願いいたします。

【事務局】

（各分科会で出された主な意見等の報告。）

＜現地存続分科会＞

前回市の財政状況について勉強したので、今回は30億円という対策工法がどのようなものかを検討した。また、その30億円の対策工法以外に、費用対効果の面でもう少し費用を抑えた対策が取れないかという意見が出された。市が提案している対策工法ほど完璧でなくてもよいので、費用を抑えた対策工法が他にあるのかどうか、またそれにはどのようなメリットデメリットがあるのか検証を行った方がいいのではないか、という意見があった。次回の宿題として、市が提示している対策工法のメリットデメリットと、費用を抑えた対策工法のメリットデメリットを比較できるような一覧表が必要ではないかという意見があった。

＜移転分科会＞

中央町駐車場、駅南敷地、成田公園のそれぞれの課題と対策について検討した。時間が限られているため、本日は中央町駐車場の検討に多くの時間を費やした。検討した内容は、敷地面積、必要面積の確保、想定される事業期間、場所、通学距離、学校規模、現在の土地利用と考え方、地域の特色、教育的見地からの考え方、概算事業費等である。それぞれの場所において、様々な課題や対策が考えられるため、次回の分科会においても検討を継続するということでもとまった。また、こうすれば移転ができるという案についても検討していきたいということでもとまった。

＜統合・分散分科会＞

通学距離について着目し、GISを活用した資料をもとに、現在岡谷小学校の通学区の中で最も遠い児童の距離が約2.1kmであること、また、岡谷小学校以外の7小学校の中で、通学距離が2kmを越える児童がいる学校が3小学校あること等の現状確認を行った。それらを踏まえて、通学距離を概ね2kmとし、現在の岡谷小の通学区を大きく神明小と田中小の2校に分けることを1つの案にして議論した。そうした議論の中で、通学区を分ける場合には、中学校区を見据えた検討が必要ではないかという意見があった。

また、岡谷小を残してもらいたいという声が多くある中では、岡谷小の歴史や伝統、文化を存続するためにはどうしたらよいか、そのためには他校との対等な統合が望ましいのではないかと、という意見があった。岡谷小の歴史や伝統を存続させる方法として、保護者、地域、児童を踏まえたワークショップ的な議論が必要ではないかという意見があった。

また、通学距離の部分で、仮に通学区が神明小と田中小の2つに分かれるとすると、多くの児童の通学距離が長くなるため、児童の安全確保のためにどのようなことが必要か、例えば、通学バスを出す必要があるかどうか等の意見があった。

どのような学校づくりをするかということについては、施設整備などのハード面も必要であるが、その前に例えば、少人数教育に力を入れる等のソフト面での学校づくりを検討すべきとの意見があった。

今回は、在学中に統合や分散となれば、児童の環境が変わることになることから、児童に対するケアとしてどのようなことが考えられるか、例えば、事前の学校間交流や教職員の加配（手厚く教職員を配置）ができるかどうか等の議論をしていきたい。

【委員長】

各分科会から報告がありましたが、各分科会の委員の皆さんから何か補足があればお願いします。

【委員】

現地存続分科会では、費用面を考えてもう少し安価な方法がないか検討するという話があったが、これはもっと安価でうまい方法がないかを検討するのではなくて、市の財政状況を考えると30億円なんていう金額が出るわけもなく、また移転も非現実的な話になってしまっているので、5億円なのか10億円なのかは分からないが、財政的な面でそのくらいの金額の

レベルの中でやれる現実的なプランを考えてみようという話があった。

【委員】

現実的に出せる金額の中で工事を行うとしたら、どのようなデメリットが出てくるのかという。

【委員】

そう。例えば 5 億円程度の地盤改修工事であっても、どのくらい危険の低減が期待できるか、というようなことを評価、検討していきたい。なかなか数値化することは難しいが。

【委員長】

他に何かありますか。

【委員】

作業スケジュールの確認ですが、次回くらいで大体まとめるということでよいか。

【委員長】

そうです。

【委員】

移転分科会は、今日は中央町駐車場を主に検討したということだったが、イルフプラザの建物を含めて検討されたのか。

【委員】

平面駐車場部分および周辺民地を買った場合にどうなるか等の検討をした。

【委員】

既存施設を使うことは、経済的には有効なので、面積が足りないのであればそれらを巻き込んでできないかということも検討している。

【委員】

ちなみに、仮に八十二銀行と郵便局の敷地を含めると面積はどうなるか。

【委員】

民有地を加えると、13,500 m²は確保できる。

【委員】

同様に、駅南敷地もパチンコ店まで含めた場合にはどうか。

【委員】

同じくらい確保できる。

【委員】

そうなると、面積的には足りるということでよいか。

【委員】

面積的には足りることになる。

【委員】

それが現実的にどうなのか、という話にはなると思うが。

【委員】

そういうこと。

【委員】

あるいは、市有地面積だけでどれだけのものができるか。または、既存の施設が使えないだろうか等の検討を前回から行っている。

【委員】

どのくらい費用がかかるのか、という検討もしている。

【委員】

13,500 m²という話があったが、13,500 m²が前提になっているのか。

【委員】

現在の岡谷小と同じ規模の学校を想定すると、13,500 m²が目安になるということを行っている。民有地まで買収することを考えれば、面積は確保できるねという話。また、それとは別に、現実案として、市有地面積だけで考えた場合には、どの程度のものが考えられますか、という話をしている。

【委員】

(校舎を)高くするとか、そういう検討はしているのか。

【委員】

そういったことも検討されている。

【委員長】

他にはよろしいですか。

(なし)

(4) その他

【委員長】

次回の日程について、事務局より説明をお願いします。

【事務局】

次回第9回あり方検討委員会については、2月の下旬を予定しております。

日時が決まり次第通知いたしますので、よろしくお願いいたします。

【委員長】

次回の委員会前までに、配布できる資料があればお願いしたい。

【事務局】

承知しました。

【委員長】

委員の皆さんで何かありますか。

(なし)

【事務局】

また何かご質問等がございましたら、質問用紙に記入していただければと思いますので、

よろしくお願いいたします。

【委員長】

以上をもちまして、本日の検討委員会を終了します

閉会 午後 9 時 10 分